

令和4年度 第1回 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会（書面開催）結果

令和4年度第1回十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面にて開催しました。

■ 開催日 令和4年8月10日（水）

■ 出席委員 12名全員

■ 会議次第

1 報告

(1) 副座長の選任について（資料1・2）

2 議事

(1) 共生ビジョンの取り組みに対する意見・提案について（資料3・4・5）

(参考資料) 第3期十勝定住自立圏共生ビジョン概要版（参考資料1）
共生ビジョン年度改訂に向けたスケジュール（参考資料2）

■ 開催結果

1 報告

(1) 副座長の選任について

十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第5条第2項の規定により、座長が指名することとなり、窪田座長の指名により武田委員を選任しました。

2 議事

(1) 共生ビジョンの取り組みに対する意見・提案について

共生ビジョンの年度改訂（案）をご確認いただき、協定に基づき推進する具体的取組に対する意見又は、地域の課題解決や十勝圏のさらなる発展に向けて、単独の市町村では対応困難な課題や、連携により効果が上がると考えられる取り組みなどについて、各委員からいただいたご意見の概要は次のとおりです。

No.	関連協定項目等	意見の概要
1	■1-1-(2) 地域医療体制の充実	地域医療機関同士がつながることは地域医療ネットワークとして大切な構想であるが、それとは別に医療と他業種をつなげるネットワークは、高齢化社会でのよりよい生活をしていく上で、人口流出対策として力になるかもしれないので、そうした取り組みを実施している町村での工夫などがあれば具体的な内容を報告していただくことが参考になるのではないかと。
2	■1-1-(2) 地域医療体制の充実	令和5年4月に帯広市医師会看護専門学校(定員35人)並びに帯広大谷短期大学看護学科(定員40人)が開設される。既存の2校を含め4校になるが、定員割れが危惧されるところである。小中学生を対象とした看護師などの医療従事者になることへの動機づけとなるアプローチが必要かと思われる。
3	■1-4-(6) 農業振興と担い手の育成 ■全分野	前回も意見したが、コロナ禍は農業だけではなく、各分野に大きな影響がある。に加え、ウクライナ侵攻は、原油等の資材高や円安につながり、肥料をはじめ、農業資材価格にも影響している。農業の現状は、牛乳やビート、米の生産調整の問題もあり、再生産の基盤が崩壊する懸念もあり、食料安全保障の問題でもある。共生ビジョンの全体を見直す時期にあると思う。
4	■2-1-(1) 地域公共交通の維持確保と利用促進	コロナ禍でますます公共交通を利用する回数が減っている。例えば、終着を帯広駅だけではなく、厚生病院や協会病院へ乗り換えなく、行くことができると、利用する人が増えると思う。
5	■2-1-(1) 地域公共交通の維持確保と利用促進	運転者不足が深刻な問題となっている。現在では、休日出勤・長時間労働が常態化しており、このまま運転手が減り続けていくと、路線の維持・確保ができなくなる状況である。運転手確保に向けた官民一体となった取り組みが必要である。
6	■全分野	進捗率に関し、分野で大きく異なっている。最近の事情で分野によっては対応が難しいことは理解しているが、目標値が現実と乖離しすぎているのか、対策や予算配分は適切なのか、見直した方がよい分野もあるのではないだろうか。

以上